

## ちょうふ市民討議会 2012 第4回実行委員会議事録

日時 2012年6月5日(火) 19:30より  
場所 調布市文化会館たづくり 10階1001学習室

出席者 【実行委員】(敬称略)

阿部正幸(○) 榎本陽介(×) K. O(▲) 梶原良介(▲) A. K(○)  
小峯充史(○) 小山晃一郎(▲) 齋藤孝(○) 竹内一(×) 竹中富知男(○)  
田中八栄子(×) 谷口淳(○) 長谷川正(○) 原島秀一(○) 平松明(▲)  
廣瀬豊(○) 増田健治(○) 宮澤学(×) 若松正晴(×) 和田勝幸(×)  
安藤貴弘(○)

出席 11名、遅刻・途中退出 4名、欠席 6名 計 21名

出席者 【特別出席者・傍聴者】

—

【配布資料】 議事次第、テーマ選定シート(前回配布)、テーマ選定一覧表

1. 実行委員長挨拶 原島実行委員長
2. 出席者確認・特別出席者・傍聴者の紹介  
・上記の通り
3. 資料の確認・書記任命 書記：増田運営副専務

#### 4. 議題：

##### ① 前回議事の確認

- ・メーリングリスト上で回覧された議事録の通り

##### ② テーマ発表（齋藤さん、竹中さん）

###### ●齋藤委員の選定したテーマ

「だれもが安心、安全に暮らし、生きる喜びを持ち、思いやりの心でつながるまちづくり」（生活道路の整備）

齋藤）大きく3つのことを考えて選定した。

何年も前から調布市の「都市計画マスタープラン」の中でも、今回選定したテーマに係わるユニバーサルデザインの問題が指摘されているが、いまでもその問題は残っている。

つまりこういう問題は何年もかけて、継続性、公益性、他地域とのかかわりを考えていかなければ解決しない。

また、行政のどこの部署が関係するかも大事である。

###### ●竹中委員の選定したテーマ

「現行の市民自治会（町内会）の活性化について」

齋藤）市民の全く身近な所をテーマにしたらどうかと考えて選定した。

30年以上調布に住んでいるが自分のまわりの地域活動がどうなっているのかわからない。現行の自治会等をもっと活性化し、行政と市民との双方向情報交換の場として、組織的に活用すればいい方向に行くのではないだろうか。なにかあるとすぐ警察や消防にお願いしがちだが、もっと行政が音頭をとって行なうべきではないか。

##### ③ スケジュールの確認

###### ・テーマの決定、無作為抽出のタイミング

無作為抽出をスケジュール通り8月下旬に行なう場合、7月の中旬にテーマを絞り込み、市のセクションにお願いしなければならない。06/19の第5回か遅くとも07/03の第6回までには、最低限、テーマの方向性は決定したい。

④ テーマ選定についてのグループ会議

・ 4グループに分かれてのテーマ選定

各グループにおいて、グループ内メンバーの選定テーマについては議論から除外する。会議後、結果をグループの代表が発表。

●グループメンバー： 原島、阿部、長谷川、K.O

発表者： 阿部委員

選定テーマ： 「小さなコミュニティ（自治会レベル）の繋がりを強化するためには」（梶原案）

選定テーマ： 「都市型農業の推進」（若松案）

- ・ 梶原案「小さなコミュニティ～」について一番よく話した。
- ・ テーマを「コミュニティそのものを構築するためにはどうすべきか」という方向に変えたほうが、行政の受け入れやすさという点からいいのではないだろうか。また参加する市民の方も話しやすいのではないか。
- ・ また孤独死など具体的な題材にも派生しやすいテーマである。
- ・ もう一つ、若松案「都市型農業～」を推薦する人が多かったのでこちらも選定した。

●グループメンバー： 小峯、梶原、齊藤、平松

発表者： 平松委員

選定テーマ： 「品川通をつつじヶ丘から仙川まで延伸する必要があるのか？」（小山案）

- ・ 小山案「品川通を～」が、すぐに全員の中で一致した。
- ・ 受け入れタイミングという点で、行政がまだ動いていない段階で、都市開発と自然保護どちらを優先するのか討議できる。
- ・ 国分寺崖線を参加する市民の皆さんに認知して頂ける。
- ・ 延伸するメリットと自然破壊のデメリット、両方の観点から情報提供しやすく、市民のみなさんにも公平な立場で議論して頂けるのでは。
- ・ 崖線を見に行くことでまきあるきも出来る。

●グループメンバー： 安藤、A.K、小山、廣瀬

発表者： A.K委員

選定テーマ： 「小さなコミュニティー（自治会レベル）の繋がりを強化するためには」（梶原案）

選定テーマ： 「郷土愛を育む教育プログラムとはなにか」（梶原案）

選定テーマ： 「都市型農業の推進」（若松案）

- ・時間が足りず消去法で決めていき、梶原案両方、小山案、若松案「都市型農業～」が残った。ただ、小山委員が途中から参加したため、小山案は議論対象から除外された。
- ・一応選定はしたが、テーマと討議会の整合性の取り方や、受け入れ先をどこにするか等は今後つめていく必要がある。
- ・どのテーマにもいいアイデアがあり、他のテーマと複合的にアレンジしていくことも考えられる。

●グループメンバー： 増田、竹中、谷口

発表者： 谷口副実行委員長

選定テーマ： 「地域で子育てを支援する有効な方法について」（原島案）

- ・全体的にインフラ的なテーマが多く、行政の構想とマッチングしにくいのではないかとこのところが焦点になった。
- ・このままではなく、テーマの投げ方や討議会当日の方向性の提示の仕方等を肉付けすればいいテーマになると思う。

⑤ 次回実行委員会に向けての宿題

- ・テーマを討議するに当たって実行委員会で必要な調査研究
- ・提言結果の受け入れ先はどこが考えられるか
- ・提言結果の受け入れタイミングは適切か
- ・提言結果の実現可能性はどうか
- ・テーマを実行するに当たっての問題点は

以上の点を各グループ毎、グループ会議で絞り込んだテーマに対し調べて来る。

次回は各グループに発表して頂き、情報共有を図る。

⑥ その他

---

5. 報告事項

・ホームページについて

- ・「たまりば」というブログ形式にてホームページを開設する予定。
- ・アドレスは増田運営副専務より、メーリングリストにて連絡する。
- ・ホームページ内に委員紹介のページを作成するが、氏名非公表を希望する委員は増田運営副専務に連絡する。

・その他

---

6. 次回実行委員会開催日の決定

日時： 2012年6月19日（火）19:30より

場所： 調布市文化会館たづくり 11階1102学習室

7. 閉会挨拶 **長谷川委員**